学校番号	414

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　高等学校　数学Ａ　（数研出版）						
副教材等	改訂版　クリアー数学Ⅰ＋Ａ　（数研出版） 改訂版　チャート式　解放と演習数学Ⅰ＋Ａ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業や課題に取り組む際、自分で考えることがなによりも大切ですが、周囲の人と意見を交換したり、考えをまとめて発表したりすることも大切です。
・ノートは、授業用／問題集用／参考書用の 3 冊を用意してください。テストごとに提出してもらいますが、その日の授業で進んだところまで、その日のうちに解いて答え合わせをし、理解しておくのが基本です。まずは復習を大切にしてください。数学は、答えに至るまでの経過が大切なので途中式は必ず書くようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化、数学的に解釈、表現・処理する技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、事象を数理的に考察する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈、表現・処理したりする技能を身につけている。	**事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して**、場合の数と確率、図形の性質における**数学的な見方や考え方を身につけている。また、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見出すことができる。**	場合の数と確率や図形の性質の考え方に**関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察**に活用しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　場合の数と確率	1. 集合の要素の個数 2. 場合の数 3. 順列 4. 組合せ	a: 順列や組み合わせの意味を理解し、それらの計算ができる。 b: 特殊な条件下にある順列について多面的に考察したり、表現したりすることができる。 c: 場合の数の考え方を事象の考察に活用しようとしている	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 授業態度
2学期	第1章　場合の数と確率	5. 事象と確率 6. 確率の基本性質 7. 独立な試行と確率 8. 条件付き確率 9. 期待値	a: 確率や期待値の意味を理解し、それらの計算ができる。 b: 特殊な条件下にある確率について多面的に考察したり、表現したりすることができる。 c: 確率の考え方を事象の考察に活用しようとしている	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 授業態度
	第2章　図形の性質	1. 三角形の辺の比 2. 三角形の外心･内心･重心 3. チェバの定理･メネラウスの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 6. 2つの円 7. 作図 8. 直線と平面 9. 空間図形と多面体	a: 三角形や円に関する基本的な性質を理解している。 b: 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見出し、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c: 図形の性質に関心を持ち、それらを新たな図形の考察に活用しようとしている。	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 授業態度
3学期	第3章　数学と人間の活動	1. 約数と倍数 2. 素数と素因数分解 3. 最大公約数･最小公倍数 4. 整数の割り算 5. ユークリッドの互除法 6. 1次不定方程式 7. n進法 8. 整数の性質と人間の活動 9. 座標の考え方 10. ゲーム･パズルの中の数学	a: 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解することができる。 b: 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。また、パズルなどに数学的な要素を見出し、目的に応じて数学を活用することができる。 c: 整数の性質の考え方を事象の考察に活用しようとしている。	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	小テスト ノートやワークシートの記述 定期考査	ノートやワークシートの記述 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度